

エコアクション21

# 環境経営活動レポート

(活動期間)2023年4月1日～2024年3月31日

2024年5月20日発行



株式会社 あおぞら

## 【目次】

表紙	1
目次	2
1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 環境管理責任者及び事務局	3
4) 連絡先	3
5) 事業活動の内容	3
6) 適用事業範囲	3
7) 事業規模	3
8) EA-21推進組織図	4
9) 許可の内容	4
10) 保有車両	5
11) 中間処理施設概要	6-7
12) 処理実績	8
2. 環境経営方針	9
3. 環境経営目標	10
4. 環境経営活動計画の内容	11
5. 環境経営活動の取組結果の評価	12
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
7. SDGsの取組	14
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	15

## 1. 事業概要

### 1) 事業者名及び代表者名

株式会社 あおぞら  
代表取締役 上甲 龍也  
設立：2005年9月22日 資本金：2,700万円  
2023年4月～2024年3月末迄の売上額：19億6280万円

### 2) 所在地

本社：〒305-0877 茨城県つくば市片田492  
処理場：〒305-0877 茨城県つくば市片田492-13

### 3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者：顧問 大戸 一生  
EA-21事務局：総務部次長 福田 亮

### 4) 連絡先

連絡担当者：福田 亮  
TEL：029-836-1731  
FAX：029-836-1971  
E-mail：m.fukuda@aozora-rpf.com  
URL：https://www.aozora-rpf.com

### 5) 事業活動の内容

- ・一般廃棄物・産業廃棄物中間処理業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・リサイクル製品(RPF)製造販売業

### 6) 適用事業範囲

- ①対象事業所：本社・中間処理場
- ②事業活動：一般廃棄物処理及び産業廃棄物処理業(中間処理)、  
リサイクル製品(RPF)製造販売業
- ③登録番号：0009135
- ④登録有効期限：2025年2月27日

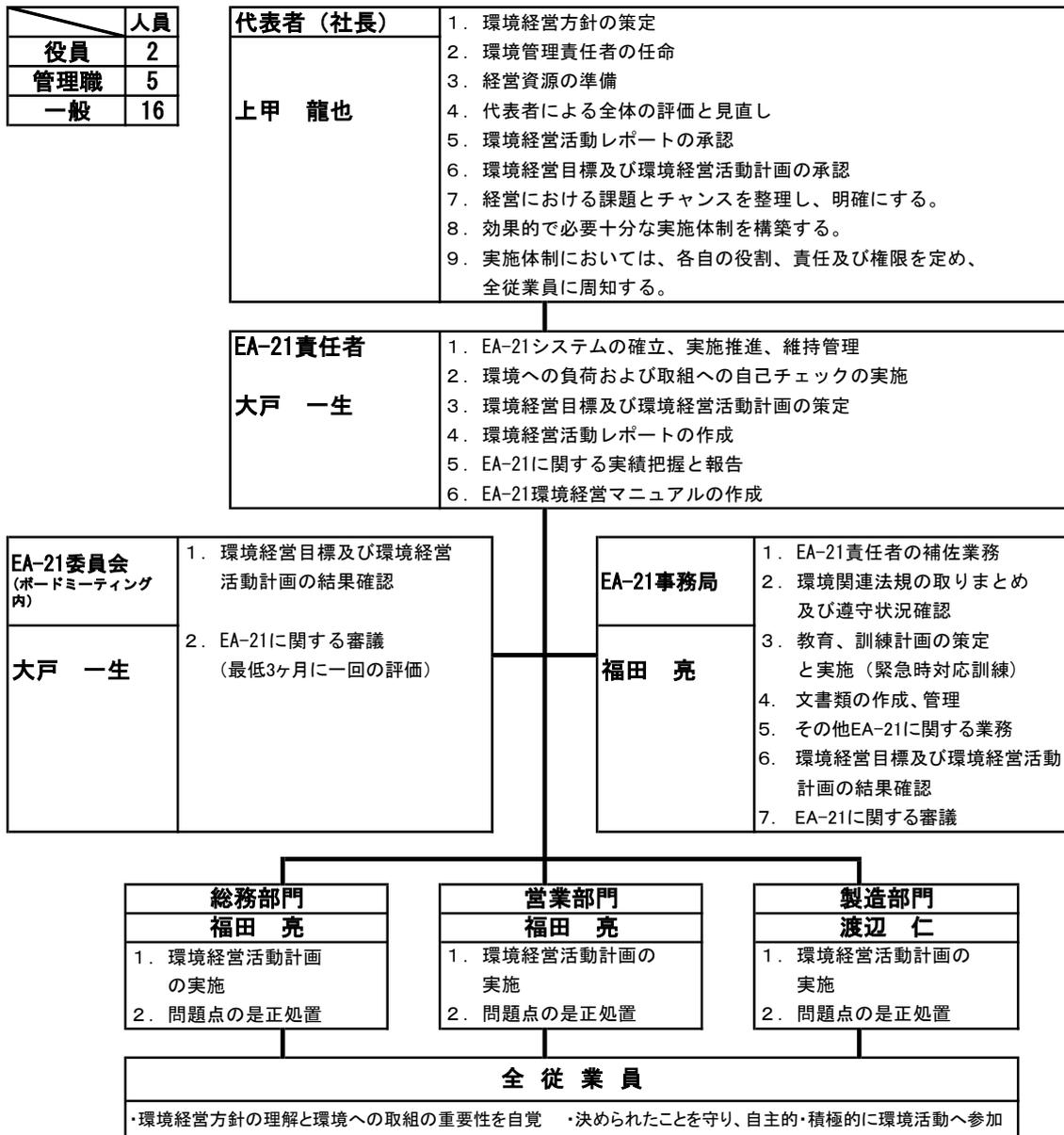
### 7) 事業規模

項目	単位	2015年4月～ 2016年3月	2016年4月～ 2017年3月	2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月
中間処理量	t	29,851	29,764	42,469	53,195
従業員数	人	22	20	19	21
床面積	m <sup>2</sup>	2,055	2,055	2,055	2,055

項目	単位	2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月
中間処理量	t	54,498	72,295	71,798	<b>73,074</b>
従業員数	人	23	22	23	23
床面積	m <sup>2</sup>	2,055	2,055	2,055	2,055

8) 推進組織図

E A 2 1 推 進 組 織 図



9) 許可の内容

a) 処分の許可番号・有効期限

地域	許可の種類	許可番号	許可年月日	有効期限
茨城県	産業廃棄物処分業	00821138136	令和3年11月1日	令和10年10月31日
つくば市	一般廃棄物処理業	11102	令和3年4月1日	令和7年3月31日

b) 処分の許可品目

許可地域	営業の種別	廃棄物の種類
茨城県	中間処分	廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
つくば市	中間処分	紙くず・廃プラ類・金属缶類・ビン類・木くず・繊維くず

c) 産業廃棄物収集運搬の許可番号・有効期限

地域	許可番号	許可年月日	有効期限
茨城県	00801138136	平成30年12月20日	令和10年10月19日
栃木県	00900138136	令和4年2月21日	令和9年2月20日
埼玉県	01100138136	令和4年10月11日	令和9年8月30日
東京都	第13-00-138136号	令和5年11月16日	令和10年12月14日
千葉県	第01200138136号	令和5年9月12日	令和10年10月29日
長野県	2009138136	令和5年11月13日	令和11年1月14日

d) 産業廃棄物収集運搬の許可品目

	品目数	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	がれき	ばいじん	鉱さい
茨城県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
栃木県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
埼玉県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
東京都	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
千葉県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
長野県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×

10) 保有車両

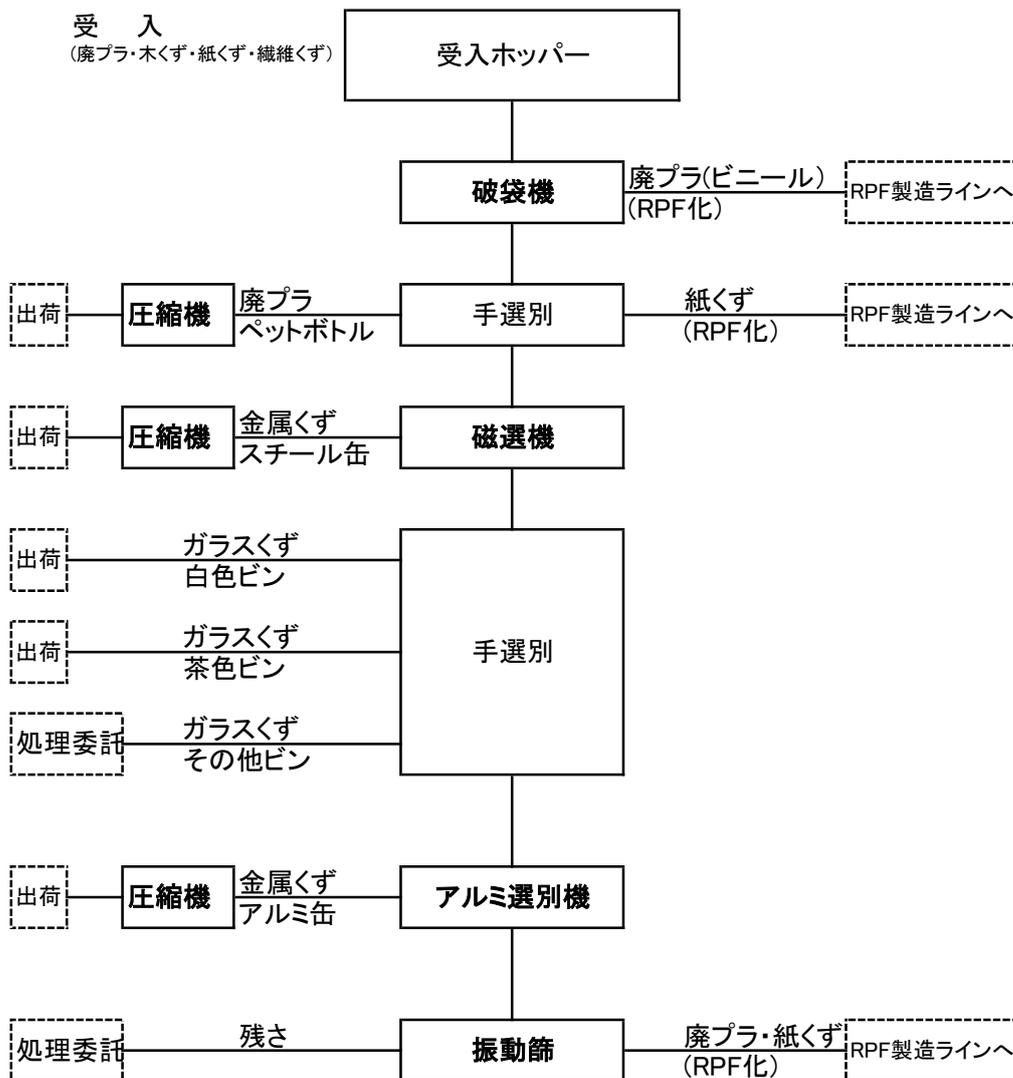
種類	台数
脱着装置付コンテナ専用車	4t 1
ホイールローダー	2
パワーショベル	8
フォークリフト	4
場内清掃車	1
普通自動車	5

11) 中間処理施設の概要

a) 空容器選別ライン施設 (H29年2月の火災後休止中)

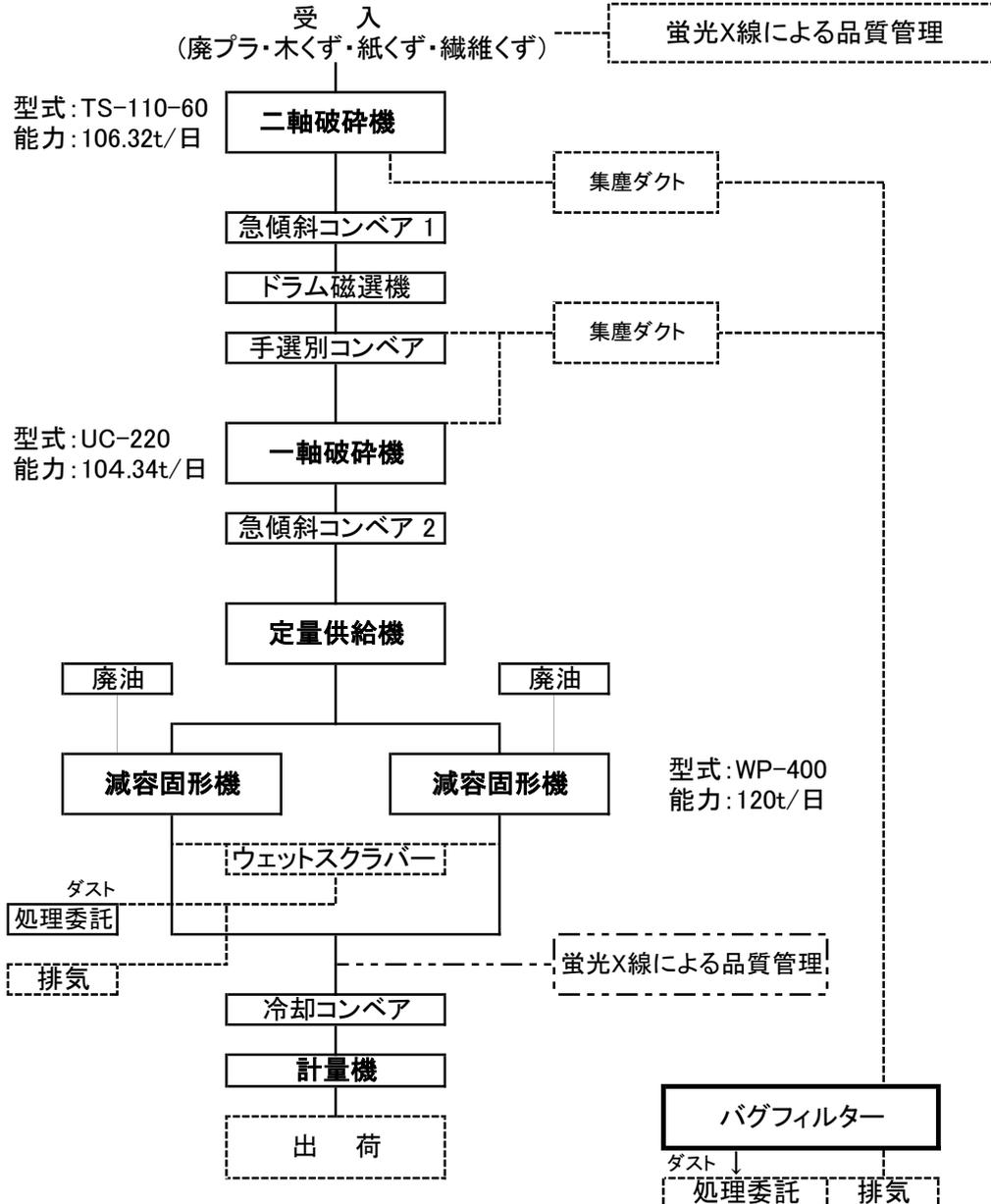
処理業者名・代表者	株式会社 あおぞら 代表取締役 上甲 龍也
処理業者住所	茨城県つくば市片田492
施設の設置場所	茨城県つくば市片田492-13
施設の責任者	上甲 龍也
	空容器ライン施設
産業廃棄物の種類	ビン・缶・ペット類
最大保管量又は処理能力	処理能力: 96トン/日量

缶・ビン・ペットボトル選別・圧縮ライン 処理工程図



b) RPF製造ライン施設

処理業者名・代表者	株式会社 あおぞら 代表取締役 上甲 龍也
処理業者住所	茨城県つくば市片田492
施設の設置場所	茨城県つくば市片田492-13
施設の責任者	上甲 龍也
	RPF製造ライン施設
産業廃棄物の種類	廃プラ・木くず・紙くず・繊維くず類
最大保管量又は処理能力	処理能力: 120トン/日量
操業可能時間	24時間(毎週2日間のメンテナンス有り)



12) 処理実績

環境への負荷の自己チェック資料(2023年4月～2024年3月に受託した産業廃棄物の処理量)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬	アル缶・スチール缶・ペットボトル		0	
収集運搬量合計			0	
(ii) 中間処理	一般廃棄物	(選別、圧縮)	0	
	産業廃棄物	(選別、圧縮)	20,733	
	一般廃棄物	(選別、破碎、溶融)	821	
	産業廃棄物	(選別、破碎、溶融)	33,528	
	うち再資源化等	一般廃棄物	(選別、圧縮)	0
		産業廃棄物	(選別、圧縮)	20,733
		一般廃棄物	(選別、破碎、溶融)	821
		産業廃棄物	(選別、破碎、溶融)	33,528
	再資源化等量小計			55,082
	中間処理合計			55,082
iii) 最終処分				
最終処分量合計			0	
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分(残さ処分)	産業廃棄物	残渣: 埋立(委託)	4,020
	二次処分	一般廃棄物・産業廃棄物	混合廃棄物: 焼却・溶融(委託)	835
		一般廃棄物・産業廃棄物	混合廃棄物: 2次中間処理(委託)	24,637
	再資源化等	一般廃棄物・産業廃棄物	RPF化: 燃料化(売却)	17,366
		一般廃棄物・産業廃棄物	スチール圧縮: 原材料化(売却)	0
		一般廃棄物・産業廃棄物	PET圧縮: 原材料化(売却)	0
		一般廃棄物・産業廃棄物	アル缶圧縮: 原材料化(売却)	0
		一般廃棄物・産業廃棄物	金属くず: 原材料化(売却)	624
		一般廃棄物・産業廃棄物	廃家電: 原材料化(売却)※リサイクル品以外	0
		一般廃棄物・産業廃棄物	アルミくず: 原材料化(売却)	0
一般廃棄物・産業廃棄物		雑品・廃プラ混合物: 原材料化(売却)	0	
再資源化等量小計			17,990	
中間処理後処分量合計			47,482	

## 2. 環境経営方針

株式会社あおぞらは、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、広く地域・社会に貢献します。

1. 当社は、産業廃棄物中間処分量、一般廃棄物中間処理業、要求に応じた高品質のRPFの製造販売、総務、経理活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

2. 関連する環境の法規制を順守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。

3. 産業廃棄物中間処分量、一般廃棄物中間処理業、RPFの製造販売、総務、経理活動において環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減  
(建物・空調・車両管理等による、電気・燃料使用量の削減)
- ② 中間処理工程で排出される産業廃棄物の再資源化の向上。
- ③ 節水活動による水使用量の削減
- ④ グリーン購入の推進。

4. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

5. 社内の環境保全教育訓練の実施。

この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

株式会社 あおぞら  
代表取締役社長

上 甲 龍 也



制定日：2012年7月2日  
改定日：2020年4月1日

### 3. 環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のように目標を設定。目標設定の基準は（火災後）2018年度実績から2020年度までの平均値とした。

中長期目標に関しては、大きな変動要因（電力会社の変更及び設備投資を伴う事業拡大）が計画されているので記載無しとした。

目標・活動項目(単位)	基準値(2019年度～2021年度実績平均値)	2023年度	基準値(2020年度～2022年度実績平均値)	2024年度
1. CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> ) CO <sub>2</sub> 総量	売上高/二酸化炭素排出量:956円/kg-CO <sub>2</sub> (2,289,054kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準値以上  956円/kg-CO <sub>2</sub> ≦ 総量:2,289,054kg-CO <sub>2</sub>	売上高/二酸化炭素排出量:2216円/kg-CO <sub>2</sub> (1,484,829kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準値以上  607.9円/kg-CO <sub>2</sub> ≦ 総量:2,643,716kg-CO <sub>2</sub>
①電気使用量の削減 総電気使用量(kWh)	4,128,951kWh≧	基準値 但し、CO <sub>2</sub> 排出ゼロの継続 4,128,951kWh	3,790,144kWh	排出係数0でも記録 3,790,144kWh
②ガソリン使用量の削減(L)	6,713L/年 ≧	基準値以下 6,713 L ≧	5,652L/年 ≧	基準値以下 5,652L
③軽油及びGTL燃料使用量の削減(L)	193,204 L/年 ≧	基準値以下 193, 204L ≧	180,759L/年 ≧	基準値以下 180,759L/年 ≧
2. 節水活動の推進 (m <sup>3</sup> )	5,701m <sup>3</sup> /年 ≧	基準値以下 5,701m <sup>3</sup> ≧	4,631m <sup>3</sup>	基準値以下 4,631m <sup>3</sup> ≧
3. 処分受託産業廃棄物の再資源化率の向上(%) 2018年度実績以上	71%以上	基準値以上 71%以上	71%以上	基準値以上 71%以上
4. グリーン購入率の向上 2018年度実績以上	54%≦ (4年平均値は53.3なので、目標は昨年同)	54%≦	54.6%≦	54%≦
5. 環境保全活動の実施 教育訓練実施(回)	1回以上/年	環境保全活動の実施 1回以上	1回以上/年	環境保全活動の実施 1回以上
6. 環境保全活動の実施 奉仕活動実施(回)	1回以上/年	環境保全活動の奉仕活動実施 1回以上	1回以上/年	環境保全活動の奉仕活動実施 1回以上
7. 一般廃棄物排出量削減(kg)	483kg/年≧ (リサイクル率90%以上)	基準値以下 483kg ≧	462.6kg/年≧ (売上増目標に合わせて、3年間の平均値)	基準値以下 462kg ≧
根拠となる売上(千円)	1,900,000		1,900,000	

使用CO<sub>2</sub>係数:

- ・電気=0.000t-CO<sub>2</sub>/kWh 電気事業者別排出係数R4年度 R5年12月22日修正版(株)アスエネ。その後東京電力エナジーパートナー(株)、(株)U-POWERへと変遷。(株)U-POWERは0.585kg-CO<sub>2</sub>/kWhであるが、全てグリーン購入あるいは非化石燃料証書にて0t-CO<sub>2</sub>/kWh。

・ガソリン=0.0183kg-CO<sub>2</sub>/MJ x 34.6MJ/L x 44/12

・軽油=0.0187kg-CO<sub>2</sub>/MJ x 37.7MJ/L x 44/12

GTLは軽油の8.5%CO<sub>2</sub>削減効果あり。

特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令平成28年10月1日に基づく。

#### 4. 環境経営活動計画の内容

当社は、工場の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の通り活動を実施しています。その達成状況や活動の実施状況を1ヶ月に1回のE A-2 1委員会にてフォローします。

No.	環境経営目標	実施事項	実施部門責任者	2022年実施計画
				期間
1	電気使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)  基準値以下	①未使用時の電気 消灯の徹底 ②昼休みの消灯 ③節電シール等の 表示 ④設備の不必要な アイドリング ストップ ⑤CO <sub>2</sub> 排出ゼロ 動力の採用	総務：福田 亮 製造：渡邊 仁	2024年4 月～2025 年 3月
2	燃料(ガソリン)使用量の 削減 (CO <sub>2</sub> の削減)  基準値以下	①アイドリングス トップの徹底。 ②車両別燃料使用量 と走行距離管理	営業：福田 亮	2024年4 月～2025 年 3月
3	燃料(軽油&GTL燃料)使 用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)  基準値以下	①不必要なアイドリ ングストップの徹 底と 無理ない運転 ②重機の定期的な清 掃とメンテナンス ③CO <sub>2</sub> 削減エネル ギーの検討	製造：渡邊 仁	2024年4 月～2025 年 3月
4	水資源使用量の削減  基準値以下	①節水シール等の 表示 ②漏洩の点検	総務：福田 亮	2024年4 月～2025 年 3月
5	受託産業廃棄物 の再資源化  基準値(2019年度～ 2020年度実績の平均 値)以上	①契約時の再資源化 品選定 ②受託廃棄物の検収 を日々行う	総務：福田 亮 製造：渡邊 仁 営業：大沼係長、 吉田主任	2024年4 月～2025 年 3月
6	グリーン購入率の向上  出来るだけグリーン購入等、 エコ商品を選ぶ。	①エコマーク商品 購入	総務：針替貴史	2024年4 月～2025 年 3月
7	環境保全活動の 教育訓練実施  1回以上/年 実施	①社内安全会議等 による教育訓練の実 施 ②E A 2 1 活動報告	全従業員	2024年4 月～2025 年 3月
8	環境保全活動の奉仕活 動実施  1回以上/年 実施	①従業員による奉仕 活動の実施	全従業員	2024年4 月～2025 年 3月
9	一般廃棄物排出量削減  基準値以下	①実績値把握 ②分別 ③自社にて一般廃棄 物の再資源化	総務：針替貴史	2024年4 月～2025 年 3月

## 5. 環境経営活動計画と取組結果の評価・次年度取組の内容

1) 2023年4月～2024年3月までの環境活動の取組結果は次の通りです。

評価方法: 目標達成=○、内容の50%が達成(若しくは特別な事情がある)=△、未達成=×

環境経営活動計画	取組結果とその評価(2023年4月～2024年3月)			
	環境経営目標	実績	達成区分及び達成率	評価
1. CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> ) 基準値3,068,475kg-CO <sub>2</sub> /年	売上高/二酸化炭素排出量 956円/kg-CO <sub>2</sub> ≤ (2,286,163kg-CO <sub>2</sub> /年)	5,743円/kg-CO <sub>2</sub> (398,352kg-CO <sub>2</sub> /年)	○ 100%	目標を達成。
①電気使用量の削減 ・未使用電気の消灯 ・昼休みの消灯 ・節電シール等の表示 ・設備の不必要なアイドリングストップ	基準値以下 4,128,951kWh ≥ 1,763,812kg-CO <sub>2</sub> ≥	3,867,099kWh 0 kg-CO <sub>2</sub>	○ 100%	目標を達成。
②ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップの徹底 ・燃費のチェック	基準値以下 6,713L ≥ 15,585kg-CO <sub>2</sub> ≥	4,948 11,461kg-CO <sub>2</sub>	○ 100%	目標を達成。
③軽油使用量の削減 ・不必要なアイドリングストップ ・重機の定期的な清掃とメンテナンス	基準値以下 193,204 L ≥ 506,758kg-CO <sub>2</sub> ≥	154,155 386,865kg-CO <sub>2</sub>	○ 100%	目標を達成。
2. 水資源使用量の削減 ・節水シール等の表示 ・漏洩の点検	基準値以下 5,701m <sup>3</sup> ≥	3,933m <sup>3</sup>	○ 100%	目標を達成。
3. 受託廃棄物の再資源化 ・契約時の再資源化品選定	基準値(2019年度～2020年度実績の平均値)以上 71% ≤	78%	○ 100%	目標を達成。
4. グリーン購入率の向上 ・エコマーク商品購入	出来るだけグリーン購入等、エコ商品を選ぶ。 54 % ≤	54.9%	○ 100%	目標を達成。
5. 環境保全活動の実施 ・社内安全会議等による教育訓練の実施 ・EA21活動報告	1回以上/年	16	○ 100%	目標を達成。
6. 環境保全活動の実施 ・従業員による奉仕活動の実施	1回以上/年	4	○ 100%	目標を達成。
7. 一般廃棄物排出量の削減 ・実績値把握 ・分別 ・自社にて一般廃棄物の再資源化	基準値以下 再資源化率100% 483kg ≥	447 100%	排出量 & 再資源化率: 100%	目標を達成。

※当年度は2019年度～2022年度実績の平均値を基準値として取り組みを継続した。  
次年度は2020年度～2023年度実績の平均値を目標として、2030年度、さらに2050年度の  
パリ協定からの合意に達した政府方針に従う。



## 7. SDGsの取組

当社はSDGsに取り組んでいます。

**株式会社 あおぞらのSDGs宣言**

社会に必須とされる存在へ

ここには次世代のあるべき社会へのビジョンが示されている  
目指すは環境負荷低減と持続的な成長を両立した社会の実現だ  
我々はそのど真ん中にいる

私たちが取り組む  
3つの重要課題と  
**SDGs**  
誰一人取り残さない  
(leave no one behind)

適切な廃棄物処理  
を通じた最適な  
自然環境を維持

地域社会の  
持続的な発展

コンプライアンス  
の徹底  
及び持続的成長

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。  
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

当年度も、自社のCO2排出ゼロを目指した取り組みとその営業を取組んだところ、計画より上向きの結果が出せた。  
課題となる2013年度比では、売上が2.7倍の19億6280万円、CO2総排出量は398t-Co2で2013年度比75%減少、一方廃棄物の受入と販売の合計取扱数量は73,074トンであったので、2013年度比82%増加している。

2013年度のCO2排出量:1585ton-Co2に対して2023年度は398.3ton-Co2で**75%減少**。また取扱数量2013年度のトン数が2023年度に増加した分Co2が増えるとしたら1585トンの1.82倍=**2,884.7t-Co2**。

また同様に売上から比較すると2013年度7億2635万円、2023年度は19億6280万円と2.7倍なので、1585t-Co2の2.7倍は**4214t-Co2**。実績479.1t-Co2なので**87.9%減少** 従って**2030年にCO2発生量を47%(50%)減少目標**に対して、当社は2022年度に**70~88.6%の削減**に達しており現在も継続中である。

2050年のカーボンニュートラル社会の実現にはこれからが大変であることは容易に想像がつくが、これからも変化に敏感であり、どのような動きも見落とさず、乗り遅れないよう、引き続きSDCA(標準化・実行・評価・改善)による検証も用いて持続的に柔軟な活動を続ける。

・環境経営方針、・環境経営目標及び環境経営計画、・実施体制 は、見直しの結果、現行のままとする。

※最新版取り纏め日:2024年3月31日 遵守確認日:2024年3月31日